

知っておくと便利な文書保存のポイント

ご家庭でお持ちの江戸時代や近代の文書・写真・本・雑誌など、大切にされている文書類（紙資料）の保存方法について、よくご相談をいただきます。これらを長く大切に保存するには、傷みの原因となる光、湿気、ホコリ、虫、ネズミ等から保護する必要があります。そこで、ご家庭でできる保存方法としていくつか紹介します。

● 保存容器を上手に使いましょう！

利用できる保存容器は多種多様です。容器によっては保存に対して一長一短があります。ご家庭での収納スペース等の事情を考慮されて上手に利用しましょう。

	防水	防虫	通気性	積載時の強度
ダンボール箱	×	△	○	×
プラスチック衣装ケース	○	△	×	○
茶箱	○	○	×	○
木箱	△	△	△	○
タンス	△	△	○	○
柳行李	×	△	○	×

保存容器には、文書類を詰めすぎないでください。入れすぎると重くて移動に苦労することになります。どのくらい詰めたらいいか基準はありませんが、容器内に多少のすき間があると、防虫剤の効果が容器内全体に行き届き、管理しやすくなります。

● 保存場所にも気をつけましょう！

なるべく湿気のない乾燥した場所に置くことが望ましいです。水濡れ対策や風の通り道の確保のためにも、保存容器は直接床に置かず、すのこなどを敷いた上に置くようにしましょう。

● 文書が傷んでいたら・・・

虫喰いを見つけたら、これ以上の被害を防ぐために、1点1点の文書のホコリ払いをしましょう。保存容器もきれいに掃除して、防虫剤を入れておくとういでしょう。

文書類の糊がとれてはがれているときはバラバラにならないように気をつけましょう。



補修が必要なときは、でんぷん糊を使ってください。文書類を傷める化学糊やセロファンテープ・クリップ・ホチキスは使わないでください。

● 年に1回は陰干しをしましょう！

ホコリがたまると虫などが発生しやすくなります。定期的にホコリを払いましょう。そして、降雨の直後や梅雨期・冬期などの湿気の高い時期を避け、年に1回程度は陰干しをします。保存容器の中には、防虫剤を入れてください。市販されているものでかまいませんが、メーカー等の違うものを同時に使用しないでください。化学反応などによって文書が傷んでしまう可能性があります。

理想的な条件の下での文書類の保存はご家庭では難しいと思います。今回、ご紹介したポイントについて、できることを行っていたただけだけでも長く保存していくことはできます。もしも、保存についてお困りのことがあれば、ぜひ県立文書館にご相談ください。（※文書館HPの「文書保存相談室」もご覧ください。）

常設展示で展示した資料を紹介します

1階エントランスホールでは、1～2か月ごとにテーマを決めて所蔵資料を紹介する常設展示を行っています。今年度展示した資料の中から代表的な資料を紹介します。

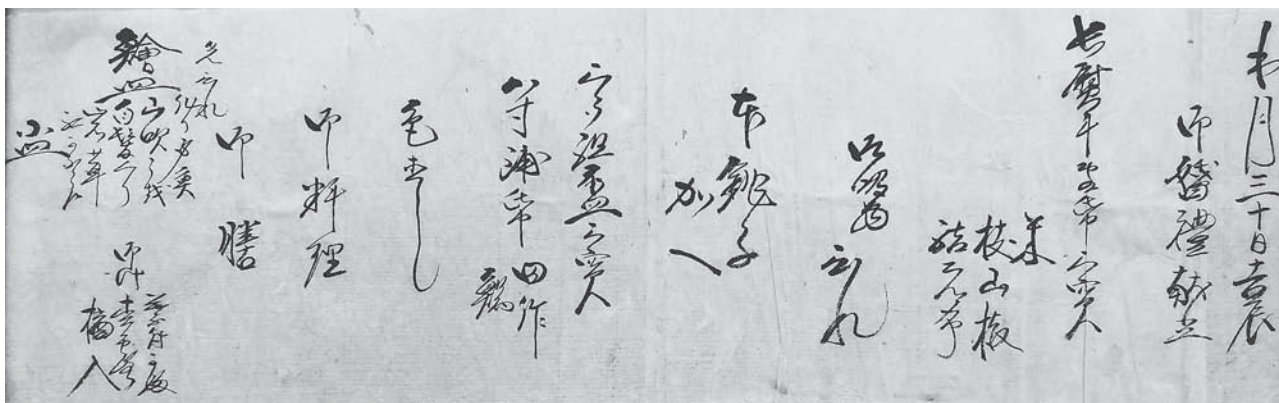
● 平成 26 年度第 1 回常設展示（4 月 1 日～5 月 11 日） みんなが使ったはじめての教科書

“はじめて”真新しい教科書を手にする小学校新 1 年生。昭和 30 年代・昭和 50 年代・平成初年代を中心に、親・子・孫の 3 世代が手にした懐かしい“はじめての教科書”を展示しました。



● 平成 26 年度第 2 回常設展示（5 月 13 日～6 月 8 日） 嫁入り支度

江戸・明治・大正時代の結婚準備に関する資料を展示しました。



「御婚礼献立」(E9916-527)

婚礼で出された本膳料理の献立です。婚礼の席にふさわしい料理が数多く並んでいます。

● 平成 26 年度第 3 回常設展示（6 月 13 日～7 月 27 日） 平成 16 年 7 月新潟・福島豪雨「7・13 水害」から 10 年～記録が伝える災害の記憶～

今年で五十嵐川・刈谷田川流域で発生した未曾有の大水害から 10 年が経ちます。長岡市立中央図書館文書資料室のご協力を得て、同室所蔵の「7・13 水害」の体験記や、避難所で貼り出されたチラシ・掲示物を展示しました。特に、避難所の手書きチラシ等は避難所生活の一端を伝えてくれるもので、この経験が同年 10 月の中越大震災や、東日本大震災に活かされていきます。

● 平成 26 年度第 4 回常設展示（7 月 29 日～8 月 31 日） 戦時下の暮らし

貯蓄や配給・供出といった消費生活に関するものや、防空訓練や共同作業に関するものなど、太平洋戦争期の国民生活の一端を伝える資料を展示しました。

● 平成 26 年度第 5 回常設展示

(9 月 2 日～10 月 19 日)

『食道楽』～明治の食文化論～

文学作品でありながら、料理方法から食育まで幅広い内容で人気を博した村井弦斎の『食道楽』を中心に、明治時代の「食」に関する刊行物を展示しました。



『食道楽』(E0806-348)

平成 25 年度に閲覧可能になった受贈受託文書

昨年度より、新たに閲覧可能になった受贈受託文書を紹介します。

請求記号	文 書 名	文 書 群 解 説
E1301	北蒲原郡横井村市嶋彦右衛門家文書	享保 6 年～天明元年、10 点。市嶋家分家に残された貸付金証文など。
E1303	新潟地震地盤災害図	昭和 39 年、6 点。新潟大学理学部地質鉱物学教室が作成した新潟地震の被害状況図。
E1304	中蒲原郡横越村地内地券	明治 16 年～21 年、123 点。横越村地内の地券。
E1305	「万代駅要覧」ほか複製資料	大正 13 年～昭和 36 年、10 点。県内の設計関係図の複製物。
E1306	大正 15 年発行『改善』創刊号	大正 15 年、1 点。生活改善運動に関連した雑誌。
E1307	北蒲原郡近代土地関係文書	明治～昭和 20 年代、7 点。北蒲原郡土地関係書類。
E1308	「最新新潟市全図」及び『越佐子供風土記』	昭和 11 年～23 年、3 点。戦前戦後の県内地理・歴史書。
E1310	『庭訓往来』写本	明治 6 年、2 点。明治初期まで広く普及した初等教科書の写本。
E1311	五十嵐浜下新田及附近全図	大正 11 年、1 点。大正期の五十嵐浜村北部の絵図。
E1312	鹿瀬発電所工事写真	昭和 3 年、65 点。阿賀野水系鹿瀬発電所建設中の工事写真
E1314	『新潟県農事試験場要覧』	昭和 16 年、1 点。昭和戦前期の農政。

平成26年度これからの文書館主催講座のお知らせ

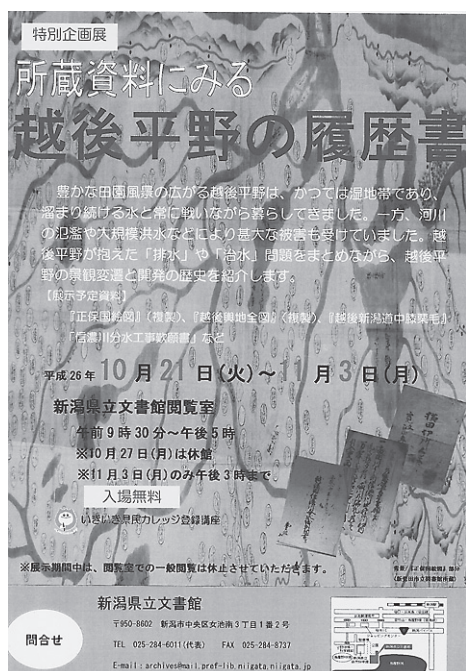
講 座 名	期 日	時 間	講 師	申込開始日
特別企画展記念講演会 「越後平野の開発の歴史」	10月25日(土)	13:30～15:00	大熊 孝氏 (新潟市潟環境研究所所長)	9月16日(火)
古文書解読講座(秋季)	11月14日・21日(金)	13:30～15:30	亀井 功 (県立文書館嘱託員)	10月23日(木)
第2回文書館歴史講座	12月13日(土)	13:30～15:00	菅瀬 亮司氏 (県立文書館文書調査員)	11月 4日(火)
第3回文書館教養講座	12月25日(木)	13:30～14:30	当館職員	11月17日(月)
第4回文書館教養講座	平成27年1月8日(木)	13:30～14:30	当館職員	
第5回文書館教養講座	1月22日(木)	13:30～14:30	当館職員	
第6回文書館教養講座	2月 5日(木)	13:30～14:30	当館職員	12月26日(金)
第7回文書館教養講座	2月12日(木)	13:30～14:30	当館職員	
第8回文書館教養講座	2月19日(木)	13:30～14:30	当館職員	
第3回文書館歴史講座	3月 7日(土)	13:30～15:00	当館職員	平成27年 1月27日(火)

※会場はすべて県立文書館ホール、定員は180名です。

新潟県立文書館特別企画展のお知らせ

新潟県立文書館では、平成26年10月21日(火)～11月3日(月)に、特別企画展「所蔵資料にみる越後平野の履歴書」を開催します。

豊かな田園風景の広がる越後平野は、かつて湿地帯であり、溜まり続ける水と常に戦いながら暮らしてきました。一方、河川の氾濫や大規模洪水などにより甚大な被害も受けていました。越後平野が抱えた「排水」や「治水」問題をまとめながら、越後平野の景観の変遷と開発の歴史を紹介します。



特別企画展
所蔵資料にみる
越後平野の履歴書

豊かな田園風景の広がる越後平野は、かつては湿地帯であり、溜まり続ける水と常に戦いながら暮らしてきました。一方、河川の氾濫や大規模洪水などにより甚大な被害も受けていました。越後平野が抱えた「排水」や「治水」問題をまとめながら、越後平野の景観の変遷と開発の歴史を紹介します。

【展示予定資料】
『正保風土記』(複製)、『越後町地全図』(複製)、『越後新潟道中記(関毛)』(複製)、『分水工事取調書』など

平成26年10月21日(火)～11月3日(月)
新潟県立文書館閲覧室
午前9時30分～午後5時
※10月27日(月)は休館
※11月3日(月)のみ午後3時まで
※入場無料
いまだ登録済みカレッジ登録講座

※展示期間中は、閲覧室での一般閲覧は休止させていただきます。

新潟県立文書館
〒950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1番2号
TEL 025-284-6011(代表) FAX 025-284-8737
E-mail: archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp

問合せ

期 日：平成26年10月21日(火)～11月3日(月)

※10月27日(月)は休館します。

時 間：午前9時30分～午後5時

※11月3日(月)は午後3時で終了させていただきます。

会 場：新潟県立文書館 閲覧室

※入場無料です。

編集・発行 **新潟県立文書館**

〒950-8602 新潟市中央区女池南3-1-2

TEL.025-284-6011 FAX.025-284-8737

URL.<http://www.archives.pref.niigata.jp/>

E-mail. archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp